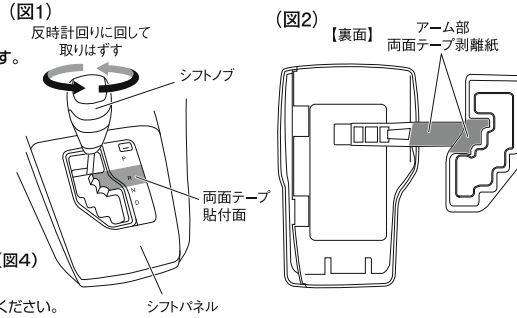


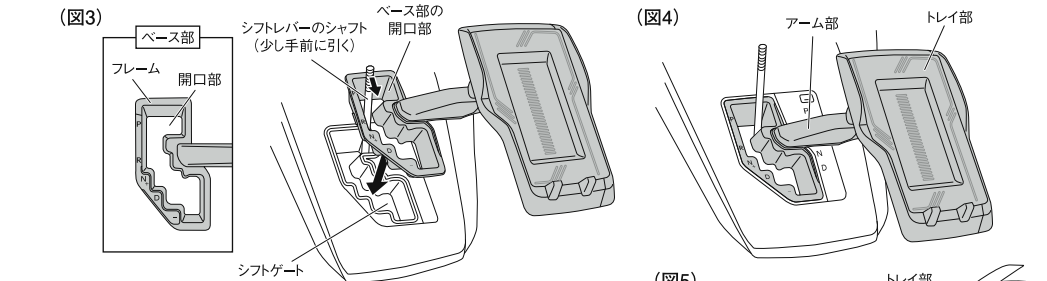
取付方法

※取付作業は、水平な場所でエンジンを切り、サイドブレーキをかけた状態で行なってください。

- 1 車のシフトレバーの位置がP(パーキング)になっていることを確認します。
- 2 シフトノブを反時計回りに回し、取りはずします。(図1)
- 3 両面テープ貼付面(図1)の汚れ・ゴミ・油・保護剤等を市販のクリーナー等できれいに拭き取ります。(脱脂作業)
- 4 アーム部表面の両面テープ剥離紙(2箇所)をはがします。(図2)
- 5 ベース部の開口部にシフトレバーのシャフトをくぐらせ、シャフトを少し手前に引いて(ギアはパーキングのまま)ベース部のフレームをシフトゲートにカチッというまではめ込みます。(図3)
- 6 アーム部を上からしっかり押さえて両面テープを密着させ、固定します。(図4)



- ⚠️ 取り付けの際、無理な力を加えたり歪めたりしないでください。
- 取付面の汚れ・ゴミ・油・保護剤等をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。
- 両面テープの粘着面に手を触れたり、ホコリ等を付けたりしないよう注意してください。
- 両面テープの貼り直しはおやめください。
- 両面テープの粘着力は貼り付け後、約24時間で安定します。それまでは強い力を加えたり、本製品を使用することはおやめください。



- 7 シフトノブを時計回りに回し、元に戻します。

- ⚠️ シフトノブを必要以上に締め込まないでください。

使用方法

- 1 トレイ部に何も置いていない状態で、アーム部をしっかり持ち、トレイ部の角度を調節します。角度調節の可動範囲は、水平に対して約10°~40°です。(図4・図5)

- ⚠️ 角度を調節する際は、アーム部を持ちながら行ってください。
- 可動範囲以上に無理な力を加えないでください。
- 注意 角度調節をする際、指や充電コード等を挟まないように注意してください。
- 本製品に物を置いたまま角度調節をしないでください。

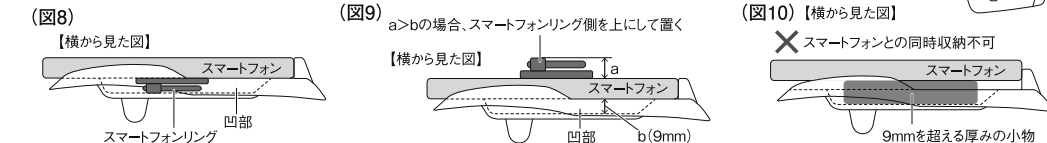
- 2 トレイ部にスマートフォンを縦向きに置きます。この際、スマートフォンの下端がアンダーアーム部に当たるように置いてください。(図6)

※走行時にシフトレバーをM(S)ポジションで操作する場合、トレイの角度によってはシフトノブを握った手と干渉する場合があります。その場合は、干渉しない角度に調節してください。

- ⚠️ 走行中は縦置きのみ可能です。横置きにするとシフト操作の妨げになるため危険です。(駐車時の横置きは可能です。)
- 注意 トレイ部から極端にはみ出すようにスマートフォンを置かないでください。
- トレイ部にはひじや手を置かないでください。

- 3 凹部にタブレット菓子等の小物を置いたり(図7)、スマートフォンはスマートフォンリングを装着したままでも置くことができます。(図8)

- ⚠️ スマートフォンリングの厚み(図9-a)が凹部の深さ9mm(図9-b)を超える場合、スマートフォンリング側を上にして置いてください。(図9)
- 注意 凹部へ小物を入れた状態でトレイ部にスマートフォンを置く場合、凹部には9mmを超える厚みのものを入れないでください。(図10)



取りはずし方法

本製品は確実に固定するため、強粘着両面テープで貼り付けます。正しい手順で取りはずし作業を行なわないと、車両および本製品を破損することがあります。

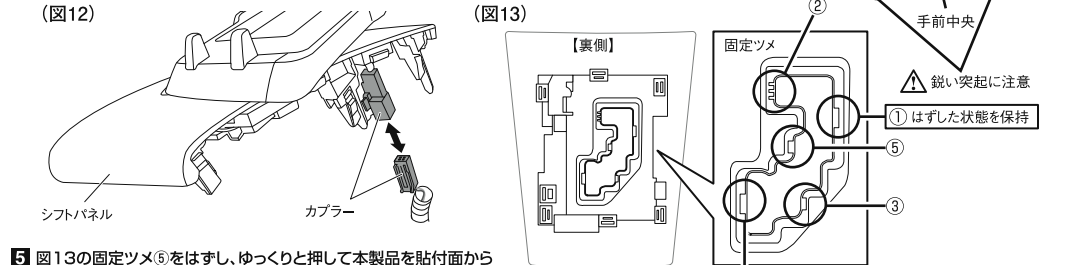
- 取りはずし作業は、安全のため以下の条件下で行なってください。
- 車両を水平な場所に停車して行なう。
- サイドブレーキをかけて、ブレーキペダルを踏んだ状態を保つ。
- 一度エンジンをかけ、サイドブレーキをかけたままシフト位置をN(ニュートラル)にしてエンジンを切る。(P)パーキングでは車両のシフトパネルがはずれません。

- 1 シフトノブを反時計回りに回し、取りはずします。(図1)
- 2 シフトパネルの手前中央に手をかけ、持ち上げるように起こし、シフトパネルを取りはずします。(図11)

- ⚠️ シフトパネル内側の角が鋭い突起状になっていますので、十分注意してください。(図11)

- 3 はずしたシフトパネルからカバーをはずします。(図12)

- 4 シフトパネル裏側から本体ベース部の固定ツメ①をしならせてはずした状態を保持したまま、②・③・④も順に1箇所ずつしならせてはずし、本製品をシフトゲートから浮かします。(図13)

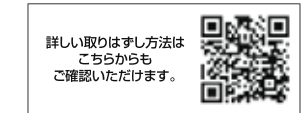
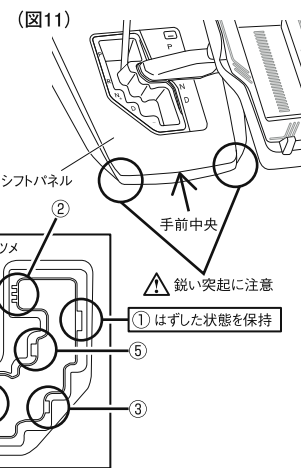


- 5 図13の固定ツメ⑤をはずし、ゆっくりと押しして本製品を貼付面から慎重にはがします。

- ⚠️ 本製品を取りはずす際は、シフトパネルを損なわないよう十分注意してゆっくりと取りはずしてください。粘着剤が残ってしまった場合は、市販のノリをはがし剤を使用してください。
- 注意 取りはずしの際、本製品を落とさないように注意してください。

- 6 はずしたカバーをはめて、シフトパネルを取り付けます。(図12)

- 7 シフトレバーの位置をP(パーキング)にして、シフトノブを時計回りに回し、元に戻します。(図1)



トレイ部のお手入れ方法

- トレイ部の軟質シートにホコリやゴミが付いた場合は、めくってはがし取り(図14)、水で洗ってしっかり乾かします。
- シートがしっかり乾いたら裏面の突起(10箇所)をトレイ部の穴(10箇所)に挿し込みます。(図15)
- ※トレイ部の裏側から突起を軽く引っばるとしっかり装着できます。
- アンダーアーム部のシートもしっかりはめ込んでください。

- ⚠️ ベンジン・シンナー・アルコール・塩素系の溶剤類は使用しないでください。
- 注意 シートを無理に引っぱったり、鋭利な物で突いたりしないでください。

⚠️ 警告 ご使用前に必ずお読みください。

- 走行中、運転者は安全のため絶対にスマートフォンを見たり、スマートフォンや本製品の操作をしたりしないでください。
- 振動により、本製品がシフトゲート部から浮く場合があります。乗車の際にしっかりと固定されているか確認してください。
- 車から離れる際には、置いた物をトレイ部に放置しないでください。
- 炎天下の車内の熱等により、本製品が熱くなる場合があります。
- 本製品には鋭利な部分がありますので、取り扱いには十分注意してください。
- 使用状況や経年変化等により本製品に変色・変形・劣化等が発生する場合があります。

⚠️ 注意 ご使用前に必ずお読みください。

